

地域人

vol. 33



地域を守り
育む人たち

「地域と一緒に歩みながら恩返しできたら」

株式会社 油屋 佐々木 弘泰
代表取締役 (ささき・ひろやす)

今回の「地域人」は、浜田市内の老舗として店舗を構えながら、浜田駅北医療フェスタ実行委員会代表の佐々木 弘泰さんをご紹介します。

活動のきっかけ

江戸時代に油を商う「佐々木屋」から19代目、明治20年の「油屋」創業から4代目と地元浜田で長く商売をさせていただいています。この浜田駅北医療フェスタ(当時は浜田駅北フェスタ)の発起は、浜田医療センターの移転が駅北地域に決定した際、弊社隣接の中央商事 郭社長様より「浜田医療センターの移転を機に、駅北地域を医療・福祉を考える地域として広く認知してもらう地域参画型のイベントを企画してみてもどうか?」とのお声を掛けて頂いたことから、同社長を代表にお願いし、平成21年に第1回目を開催いたしました。その後、浜田医療センターが現地に移転されてから「医療・福祉・介護を考える」をテーマに、浜田駅北医療フェスタとして再スタートしています。

浜田駅北医療フェスタ

第1回目はスーパーダッグスの旧店舗前を歩行者天国にして地域のお祭りとして開催しましたが、前年に秋葉原通り魔事件が発生した影響からか、なかなか許可が下りず苦労しました。また、浜田医療センターが移転してきてから浜田医療センターの病院フェスタや浜田医療センター附属看護学校の学園祭も同時に開催するにあたっては、なぜ合同で行うのかと周囲の方から理解を得るのにかなり時間を要しました。地域の住民の一人として、また駅北を賑わう町として盛り上げるために、地域の中核病院が移転してくることへの歓迎の意を示したかったこともあります。

早いもので浜田駅北医療フェスタも10回を数え、JR、ライオンズクラブ、医療を考える会からも声をかけていただき、毎年趣向を変えながら駅北地域一帯を巻き込んだ大イベントに成長し、来場者数は2000人を超えるほどになりました。

地域の学生たちに向けて

三隅町にあるリハビリテーションカレッジの生徒数は減少傾向にあります。地域で働いてくれる医療従事者を増や

していかなければ、医療・福祉・介護を守っていくことが難しくなると考えています。学生が何を学んでいるのかなど学校の紹介をフェスタで行っていき、学生たちが興味を持ってくれるようにしたいですね。また、小・中・高校生などの学習発表の場を設けることも考えています。

地域の方に伝えたいこと

年6回、スーパーダッグスにおいて、介護事業所「ほほえみライフ」とコラボし、無料介護利用相談を行っています。毎回2時間ほど開催し、ケアマネージャーが来店されます。無料で場所を提供することで、地域の皆さんへ利益を還元させていただいています。次回は2月15日(金)13時から開催予定です。また、旧スーパーダッグス跡地にビジネスホテルを建設します。14階建の246室を備え、東横インへ貸し出す予定です。現在交渉中ですが、浜田医療センターを利用されている患者さんの家族の方への割引なども予定しています。こちらは2020年3月にオープン予定です。私どもの本業は商いですので営利を出す必要はありますが、これからも営利を還元することで地域の方が喜んでいただけるように恩返ししていきたいですね。



無料介護利用相談の様子